

# 日本留学海外拠点連携推進事業主催日本留学フェア (於ロシア連邦・ユジノサハリンスク) を開催

本学は、2018年度から日本留学海外拠点連携推進事業を受託し、ロシア各地で日本への留学を促進する活動を展開しています。このたび2019年度の第1回目となる日本留学フェアを5月20日(月)・21日(火)にロシア連邦サハリン州ユジノサハリンスク市において実施しました。

サハリン州では、日本留学に意欲的である高校生及び大学生が多くいると考えられるものの日本の大学への留学に関する情報は少なく、日本の大学の良さ、日本留学のメリット等が現地学生に知られていません。そのため日本の大学への留学人数は、非常に少ない状況となっています。

今回、同州の州都であるユジノサハリンスクに位置し、本学の協定校であるサハリン国立大学及び在ユジノサハリンスク日本国総領事館の協力を得て、同大学を会場に日本留学フェアを開催し、日本からは本学のほか、東海大学、早稲田大学、近畿大学、KOYO国際学院、札幌ランゲージセンターの6教育機関が現地参加しました。

20日(月)は、フェアの開会にあたり、サハリン国立大学Svetlana Baryshnikova副学長、在ユジノサハリンスク日本国総領事館平野隆一総領事から挨拶をいただきました。次に、在ユジノサハリンスク日本国総領事館Dmitriy Rodin現地職員から日本の国費留学の概要について説明がありました。続いて、サハリン国立大学の学生(2名)による日本留学体験についてのプレゼンテーションが行われました。その後、日本からの各教育機関のプレゼンテーションが行われ、本学国際連携機構野田昭彦副機構長(留学フェア当時)の閉会の挨拶をもって午前の全体会が終了しました。

午後には、東海大学隈本純教授による模擬講義が行われ、その後個別相談会を実施しました。フェアにはサハリン国立大学の学生を中心に、約120名が来場し、高校生や保護者の参加もありました。

フェア当日に実施したアンケートの結果では、短期留学に興味があるとの回答が33%あったほか、興味のある情

報として「留学後のキャリア」との回答が32%、留学先として韓国をはじめ、アジア諸国と回答した参加者が27%いたことなど、当地での留学希望者の傾向やアジアに隣接する同州の地域性と思われる特徴が見られました。こうした結果は、今後の留学フェアの内容を検討する際、活用していきます。

翌日の21日(火)には高校訪問を行いました。第2ジムナジウム、東洋ジムナジウム、第1ジムナジアムの3校を訪問し、各校で日本留学全般に関する概要説明と、参加機関(本学、早稲田大学、札幌ランゲージセンター)に関するプレゼンテーションを行いました。

本学では、引き続き、ロシアの教育機関、行政、支援機関や企業等と連携し、日本とロシア・CIS地域の学術・学生交流を促進する活動を実施していく予定です。

(国際部国際連携課)



日本留学フェア全体会



個別相談の様子



高校訪問(於:第1ジムナジウム)